

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

令和3年5月27日（木）

3. 調査の対象

泉佐野市立第三中学校 第3学年，全生徒

実施生徒数（ 138人 ）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、小学校は国語及び算数，中学校は国語及び数学。

イ 出題範囲は，調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし，出題内容は，それぞれの学年・教科に関し，知識・技能に関する内容と，それらを活用する力や構想を立てて実践し評価・改善する力などに関する内容とする。

ウ 出題形式については，選択式及び短答式に加え，記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童生徒を対象に，学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施する。

(3) 学校の取組に関する調査

調査対象の児童生徒が在籍する学校を対象に，学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施する。

※平成29年度より，文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は，整数となっております。

令和3年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

・平均正答数は全体的に全国に比べて下回っており、分布状況は全国と比べて、上位層は少なく、中間層から下位層にかけて多くなっている。

・全体的に全国と比べて『自分の考えを書くこと』や『理由を書く』などは正答率も低く、無解答率も高くなっている。

平均正答率（本校 50／泉佐野市 59／大阪府 62／全国 64.6）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】 ○話合いでの質問の意図を捉えることは概ねできている。 1ー二 話合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する。 (89.1/92.5)</p> <p>○話合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考えることに課題がある。 1ー三 参加者の誰がどのようなことについて発言するとよいかと、そのように考えた理由を書く。 (25.4/57.1)</p> <p>【書くこと】 ○書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くことに課題がある。 2ー一 意見分の下書きを直した意図として適切なものを選択する。 (15.2/24.8)</p> <p>○書いた文章を相互に読み合い、文章の構成の工夫を考えることに課題があり、無解答者も多い。 2ー二 意見文の下書きの構成の工夫について、自分の考えを書く。 (50.0/74.5)</p> <p>○伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くことに課題がある。 4ー四 事前に確かめておきたいことについて相手に失礼のないように書く。 (48.6/71.9)</p>	<p>【読むこと】 ○文脈の中における語句の意味を理解することに課題がある。 3ー一 「呼吸をのみこんだ」の意味として適切なものを選択する。 (31.2/43.7)</p> <p>○登場人物の言動の意味を考え、内容を理解することに課題があり、無解答者も多い。 3ー三 「反対の結果を呈出した」について、このことが分かる「黒」の様子を文章の中から抜き出す。 (44.9/71.0)</p> <p>○文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことに課題がある。 3ー四 「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く。 (4.3/20.5)</p> <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 ○文脈に即して漢字を正しく読むことは概ねできている。 4ー一① 漢字を読む（伸ばして）。 (95.7/97.5)</p> <p>○相手や場に応じて敬語を適切に使うことに課題がある。 4ー三 「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する。 (29.0/40.3)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか。	58.7	60.8		2.1
国語の勉強は大切だと思いますか。	90.6	91.6		1.0
国語の授業の内容はよく分かりますか。	71.1	80.1	◇	9.0
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	86.2	88.7		2.5
国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか。	76.2	81.8	◇	5.6
国語の授業では目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか。	52.1	61.3	◇	9.2
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしていますか。	57.2	74.6	○	17.4
国語の授業では、目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりしていますか。	60.1	77.0	○	16.9

- 「国語の勉強は好きだ」と感じている生徒の割合は、一昨年度と比べると増加し全国との差が小さくなっている。また、「そう思う」と答えた生徒の割合は全国より割合が高くなっている。
- 「国語の勉強は大切だ」と感じている生徒の割合は、一昨年度と比べると増加し全国との差がほとんどなくなっている。また「そう思う」と感じている生徒の割合は全国と差がなくなっている。
- 「国語の授業はよくわかる」と答えた生徒は、一昨年度と比べて減少しており、授業の内容を見直していく必要がある。
- 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と答えた生徒は一昨年度と比べるととても増加していることは評価できる。
- 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしている」と答えた生徒の割合は増加していることは評価できるが、依然として全国と比べると差が大きい。また、書く問題における無解答者の割合も依然として多いことは課題である。
- 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしている」と答えた生徒の割合は減少しており、全国との差が大きくなっていることは課題である。また、書く問題における無解答者の割合にもつながっていることが予測される。

令和3年度全国学力・学習状況調査の分析（数学）

1. 全体の傾向

・平均正答数は全国と比べて低い値になっており、分布状況は全国と比べて上位層は少なく、中間層から下位層にかけて多く分布している。

平均正答率（本校 45／泉佐野市 52／大阪府 56／全国 57.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

数学	特徴がみられた設問
<p>【数と式】</p> <p>○整式の加法と減法の計算ができることに課題がある。</p> <p>1 $(5x+6y) - (3x-2y)$ (71.0/77.1)</p> <p>○具体的な場面で、一元一次方程式をつくることに課題がある。</p> <p>2 数量の関係を一元一次方程式で表す。 (60.1/71.3)</p> <p>○目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することに課題がある。</p> <p>6 (2) 四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数になることの説明を完成する。 (38.4/61.8)</p> <p>○数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することに課題がある。</p> <p>6 (3) 四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であるかを説明する。 (12.3/30.3)</p> <p>【図形】</p> <p>○扇形の中心角と弧の長さや面積との関係について理解することに課題がある。</p> <p>3 中心角 60° の扇形の弧の長さについて正しいものを選ぶ。 (50.7/68.1)</p> <p>○錯角が等しくなるための、2直線の位置関係を理解することに課題がある。</p> <p>9 (2) 錯角が等しくなることについて、根拠となる直線 FE と直線 BC の関係を、記号を用いて表す。 (44.2/64.3)</p>	<p>【関数】</p> <p>○関数の意味を理解することに課題がある。</p> <p>4 経過した時間と影の長さの関係を「…は…の関数である」という形で表現する。 (39.1/48.0)</p> <p>○与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ること課題がある。</p> <p>7 (1) 与えられた表やグラフから、砂の重さが 75 g のときに、砂が落ちきるまでの時間が 36.0 秒であったことを表す点を求める。 (85.5/93.5)</p> <p>○事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。</p> <p>7 (2) 与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な重さを求める方法を説明する。 (15.2/27.7)</p> <p>【資料の活用】</p> <p>○ヒストグラムからある階級の度数を読み取ること課題がある。</p> <p>8 (1) 気温差が 9°C 以上 12°C 未満の階級の度数を書く。 (71.0/83.0)</p> <p>○相対度数の必要性と意味を理解することに課題がある。</p> <p>8 (2) 2つの分布の傾向を比べるために相対度数を用いること前提となっている考えを選ぶ。 (26.1/36.8)</p> <p>○データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。</p> <p>8 (3) 「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する。 (5.1/11.1)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は大切だと思いますか	78.3	84.1	◇	5.8
数学の授業の内容はよく分かりますか。	63.1	74.6	○	11.5
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	68.1	74.6	◇	6.5
数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。	39.1	50.6	○	11.5
数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。	68.1	75.8	◇	7.7
数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。	74.6	83.5	◇	8.9
数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。	65.9	86.6	○	20.7

- 「数学の勉強は好き」と感じている生徒の割合は一昨年度と比べると減少しており、全国との差も大きくなっている。
- 「数学の勉強は大切」と感じている生徒の割合は一昨年度と比べると減少しており、全国との差も大きくなっている。
- 「数学の授業がよく分かる」と感じている生徒の割合は一昨年度と比べると大きく減少しており、全国との差も大きくなっている。
- 「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たとき役に立つと思う」と感じている生徒は減少しており、「そう思う」「どちらかといえば思う」と答えた生徒とも減少している。また、全国との差も広がっている。
- 「数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないかと考えている」と答えた生徒の割合は、全国と比べると低い値が出ており、授業の中で実生活のものと結びつけて考えさせていく必要がある。
- 「数学的な問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えている」と答えた生徒の割合は、全国と比べると低い値となっている。
- 「数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている」と答えた生徒の割合は全国と比べると低い値となっている。
- 「数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」と答えた生徒のうち、「そう思う」と回答した生徒の割合が全国と比べると大きく差があることは課題である。

令和3年度全国学力・学習状況調査の分析（生徒質問紙より）

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【学校での学習の様子】	<p>本校の状況としては、生徒一人に与えられている端末を授業の中で少しずつ活用している段階であるので、全国と比べると低い値になっていると考えられる。</p>	<p>あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度しようしていますか。 <9.4/34.8></p>
	<p>本校の状況としては、「表現する・書く」力を育成することをテーマに、各授業で取り組んでいる段階である。取り組みを始めてから少しずつではあるが、自分の意見を書く生徒は増えてきていると感じている。</p>	<p>1.2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。 <34.2/62.0></p>
	<p>本校の状況としては、一人一台の端末を活用し始めているので、総合の時間などで端末を使い、調べ学習やグループでの発表などを少しずつ取り組み始めている段階である。</p>	<p>総合的な学習の時間では、自分の課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。 <40.6/70.2></p>

本校の取組

◎これまでの取組

- ・年度初めに職員会議で今年度のテーマである「知識や技能を活用し、理由を付けて自分の考えを分かりやすく表現する（書く）力を育成する」を全体で共有し、校内研究授業を実施し、全職員で力を育成するために取り組んだ。
- ・学力向上担当者から通信を出し、テストの形式の統一や黒板の使い方など全職員が共通して取り組むことを共有し、実践している。
- ・学期に一度、「相互授業参観」を実施し、本校で設定した三中スタンダードを基にどれくらい達成できているかを教員相互で参観し、授業力を高める取り組みをしている。
- ・chromebook 運営委員会を設置し、積極的に chromebook を活用できるよう、検討している。
- ・7月に chromebook の校内研修を実施し、chromebook でできることを体験することで、2学期以降、chromebook を活用する場面が増えてきている。

◎これからの取組

- ・年度初めに提案した朝学習の充実に向けて、学校全体の取り組みとして全職員で取り組む。
- ・全国学力学習状況調査やチャレンジテストの結果を受けて各教科部会を開き、各教科における課題を見つけ、克服していくための手立てを考えていく取り組みをする。
- ・chromebook をより活用していくにあたって、実践例などを教員間で共有していく取り組みをする。